

正智深谷高等学校特別コラム

# Mind Charging

Since 2020

第394回

安藤百福

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和6年9月4日

編集委員：入試広報室 鈴木



## 今回の言葉

専門家の言うことを鵜呑みにはしない。  
時には素人の発想が正しいこともある。

安藤 百福は、日本の実業家。日清食品創業者。インスタントラーメン「チキンラーメン」、カップ麺「カップヌードル」の開発者として知られる。日本統治時代の台湾出身で、出生名は呉 百福。台湾本島人であるため、戦後は中華民国籍になり、1966年に日本国籍を再取得した。

## Column

今回の言葉は『カップヌードル』や『チキンラーメン』などでおなじみの日清食品の創業者として有名な安藤百福（ももふく）さんのものです。私も大好きですが、みなさんの中にも食べたことがある人や大好きだという人もきっと多いと思います。安藤さんのような創業・開発などを出掛けた0を1にするような人は、知識はもちろんですが“やってみたい！”が先に来るような人なのでしょう。そんな好奇心やチャレンジ精神の塊のような安藤さんだからこそ現在の日清食品があるのだと思います。

世の中には様々な分野における“専門家”と呼ばれる人たちが発表した情報に溢れていて、そのほとんどが専門家本人に直接聞かなくてもスマホひとつで手軽に入手でき、興味を持った分野の勉強がいつでもできるという非常に便利な時代です。では、なぜ今回の言葉では『鵜呑みにはしない』と言うのでしょうか。私の中で、情報はあくまでも“ひとつの結果”だと思っています。様々な分野において多くの専門家が研究を続けています。追求してみたい分野があって、調べてみた内容が自分の考えと違った時に『でも、これは専門家の意見だからね』と言われると諦めてしまいがちですが、例えば鎌倉幕府が創設されたのが1192年から1185年に変わったことなど、情報は更新されていきます。そういう意味で、やる前から諦めるのではなく“新たな間違いの発見”という気持ちで『やってみたいのなら、チャレンジしてみよう！』『本気でチャレンジしたいことを見つけよう！』という常にチャレンジ精神を忘れないでほしいという安藤さんが自身の経験から生まれた私たちの背中を押してくれるメッセージなのだと思います。

人の思い（本気）は時として素晴らしい“奇跡”を生むものだとは私は信じています。もしかしたらみなさんは新たな情報となる答えやヒントを導き出す力を秘めているのかもしれない。これは今回の言葉の『時には～』という部分に繋がります。情報も物質的な部分でも今後しばらく新たなものは必要ないと思うほど多くのもので溢れている現代です。そんな中で0を探すことは困難ですが、新たな『+1』は自分の心次第で生み出すことができます。最初はみんな素人です。アグレッシブな正智生であることを願っています！